

# 長尾西中だより



令和3年4月23日

枚方市立長尾西中学校  
枚方市長尾谷町1丁目73番1号  
校長 石川裕子

## まもなく緊急事態宣言

今、大阪では新型コロナウイルス感染者が急増し、医療機関は大変な状況です。救急車の中で長時間待機させられる人や病院に行きたくても受け入れてもらえない人がでてきている事態です。休校になる学校も増えてきています。

そんな中、みなさんにお伝えしたいことがあります。それは、「人を思いやる気持ち」をもってほしいということです。

今は、だれもが普通に生活している中で、感染する可能性があります。しかし、人々の中には、「人を思いやる気持ち」を忘れてしまい、感染した人に冷たい態度をとったり、うわさ話をしたりする人がいると聞きます。それは、同じ人間として許されないことです。みなさん、冷静によく考えてみてください。恐れるべきは「ウイルス」です。人ではありません。うわさ話も人を傷つけます。

昨年度もお話しましたが、感染した人の気持ちを想像できる人になってください。それが、「人を思いやる気持ち」です。感染した人は、自分がどうなるのか不安です。体も心もつらくしんどい思いをしています。保健所から指示された期間、社会から孤立して生活しなければなりません。それは、他の人にうつさないようにするために不安や辛さに耐えながら過ごす期間です。そんな不安で辛く苦しい思いをしている人たちに、温かい言葉を送れる人になってください。



そして、「人を思いやる気持ち」があれば、今、自分取るべき行動ははっきりしています。それは、感染を広げないよう協力することです。不要不急の外出を控えて、みんなでこの危機を乗り切るためには、公園で遊ぶことやマスクなしで歩くことなど、社会生活上してはならないことがあるはずですが、ひとりひとりが大阪府民として、地元「大阪」の安全を守るために、協力してください。それが、「人を思いやること」、家族や友人、大切な人を守ることです。みんなで、協力し合いながら、人を思いやることのできる心温かい学校にしてください。

## マスク着用について（再度のお願い）

保健所の疫学調査で、一番のポイントとなるのは、「マスクの着用」です。手で触れることの出来る距離（目安として1メートル）で、マスクを外して15分以上そばにいれば、濃厚接触者になります。※活動場所の状況によっても判定はかわります。「いつでも、どこでもマスクを着用！」を徹底して、学校生活を送りましょう。

